

津波ハザードマップ

凡例

津波避難ビル	浸水想定区分
一時緊急避難場所	0.01m ~ 0.3m
避難所	0.3m ~ 1.0m
広域避難場所	1.0m ~ 2.0m
避難経路	2.0m ~ 3.0m
5m等高線	3.0m ~ 4.0m
10m等高線	4.0m ~ 5.0m

津波浸水予測範囲は、津波浸水予測結果(平成25年8月大阪府公表)に基づいて作成しています。

逃げろ!!

南海線より山側へ
第一波到達 **93分**
とにかく徒歩で逃げる

留意事項

- 津波浸水想定は、内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」が公表したモデルから、大阪府域に最も大きな影響を与えと考えられるモデルを選定しており、防潮堤の沈下や防潮施設の閉鎖状況を考慮し、悪条件となる場合に想定される浸水域(浸水の区域)と浸水深(水深)を表したものです。
- 一定の条件で計算した結果であるため、着色されていない区域が必ずしも安全というわけではなく、着色されていない区域で浸水する可能性もあります。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予想される津波から想定したものであることから、これよりも大きな津波が発生する場合も考えられます。

●津波避難ビル

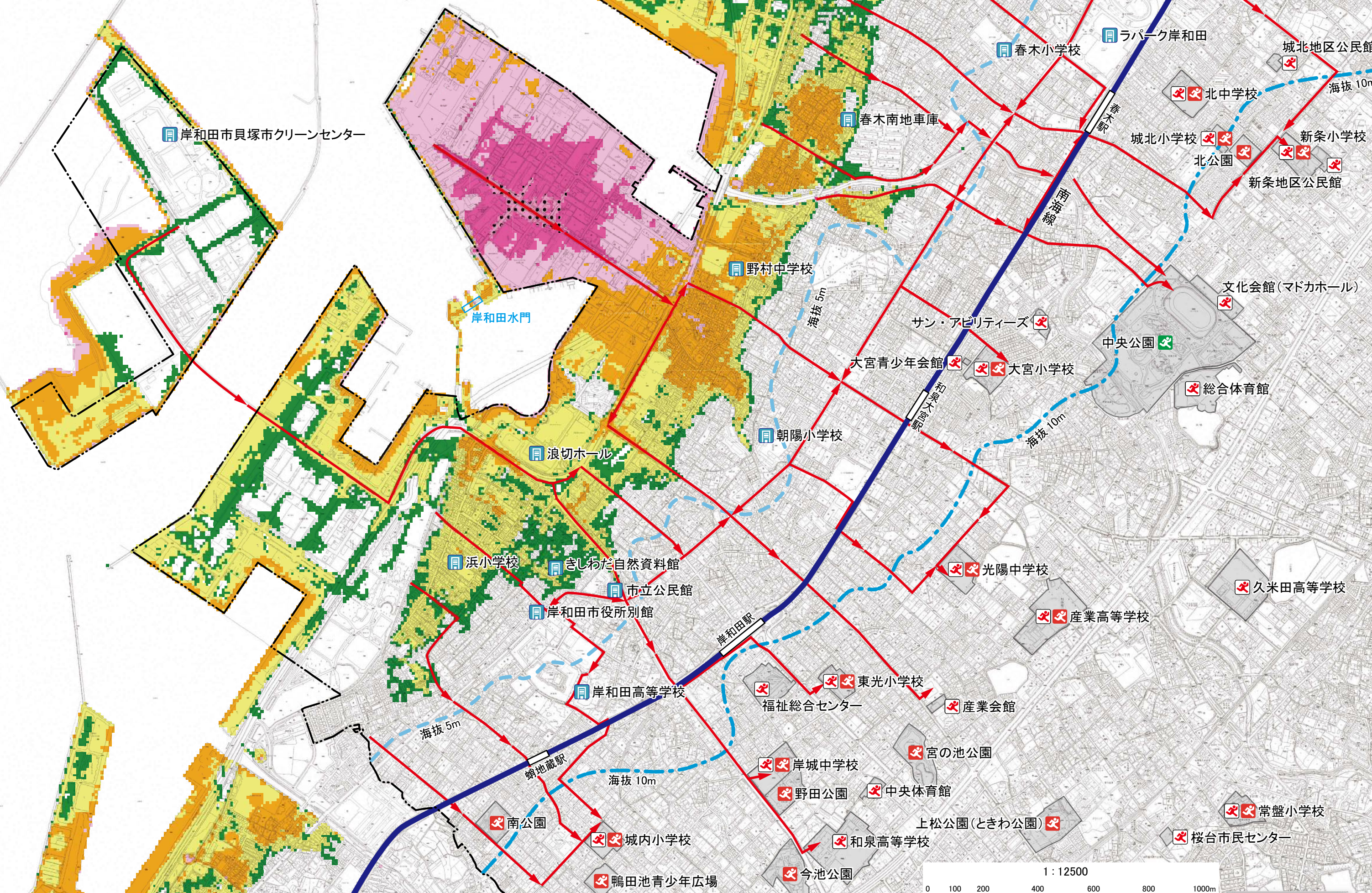
逃げ遅れにより南海本線まで避難できない人が一時的に避難する建物

●一時緊急避難場所

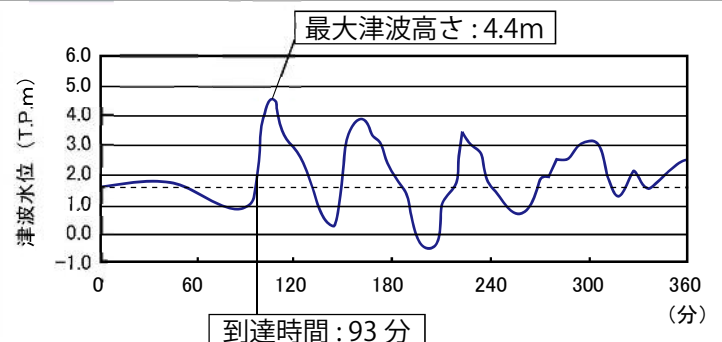
概ね1ヘクタール以上の広さの公園や広場などで、一時的に避難できる場所

●避難所

災害による浸水や破損などによって自宅に居ることが出来なくなったときやその恐れがあるときに避難する施設

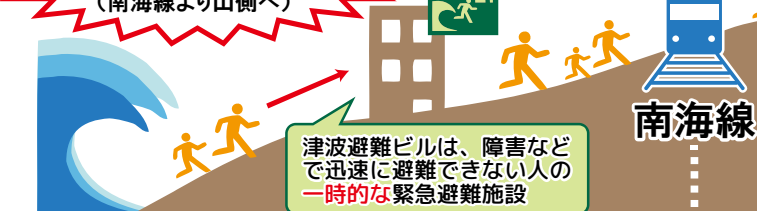


津波到達時間と大きさ(岸和田水門)



津波の第1波到達まで約93分

津波到達までに、何よりも山側へ避難!!
(南海線より山側へ)



避難所

大津波から逃げるために、南海線よりも山側へ避難しましょう。山側へ避難できないときは、津波避難ビルに避難しましょう。

津波避難ビルは、障害などで迅速に避難できない人の一時的な緊急避難施設

津波避難ビルに指定している建物については、次の標識を掲示しています。

